愛國婦人

創刊明治卅五年三月廿七日●明治卅五年三月廿七日第三種郵便物認可●毎月二回(五日廿日)發行●電話番町千七百四十五番●同五百廿番●遞送無料●振替貯金口座壹壹六一番

半年分金四十二錢●定價一部金三錢五厘●一年分金八十四錢●廣告料一行金六十錢●發行所東京麴町區牛ヶ淵公園内愛國婦人發行所●發行兼印刷人山澤俊夫●編輯者永持德一

明治四十二年十二月五日發行

Dec. 5th. 1909.

講演 文學博士 村上專精

父を失へる私の感想

このお話は、博士が上宮敎會にて述べられたお話の梗略であります。人は如何に深く感ずると云ふても、自分の身に關した事より痛切に感ずるものはありますまい。博士の父君は本年の夏御逝去になりました。その時の御感じを承りまして、深く自分の身に染みてこのお話を承りました中の私は一人であります。(千葉子)

心も跳る「危篤」の電報

私がこの春煩ひました時、父からの書面に、其方は己より二十餘年も若い癖に、それで病氣をするなんと云ふことは甚だ以ての外の事であると云ふ叱りを受けたのである。この位私の父は健康な人でありました。けれども、もう老年の事でありますから、私もいつ何時電信と云ふやうな事がないとも限らないと、思つて常々何處に參りましても、此事はつい忘れた事がなかつた。それについぞ行つた事のない私が本年岩手縣に參つて、さうして僻地の溫泉で講話を致して居りました。すると其處へ電信が參りました。それは父の危篤の報知である、私はその電信を見て非常に驚いた。けれども其晩はどうしても其處で演説をしなければならぬ事になつて居りまして、又先きでも其つもりで居りますからして、どうも止める譯にもゆかず、それかと申して外の事とは違つて、どうも非常な心配を致しまして、兎に角、まあどんな容態であるか紹介をしてからの事に致さうと思つて電信をうつと、もう明日が覺束ないと云ふ、こう云ふ返信が參りました。その時の私の心持と云ふものは迚も言葉には盡せません。どう致方もありませぬから演説を濟して、その夜の零時二十分の汽車で歸りました。大急ぎでもつて參りますと、丁度昨日の今頃で御座いましたと云はれ、停車場から來る道でも六ケ敷はないかと心を痛めて居りましたが、宅に着くや丁度昨日の今頃で御座いましたと云ふ、其言葉を聽きまして、私は父の遺骸の前に頭を下げた儘でありました。

生れて初めての感想

この感じは實に私の生れてからまだない感じでありました。なんと云ふてよいか、それは實に胸に迫つて泣くにも泣かれん程の感があつた。若しこれを他人が見た時に、子供ならば兎に角白い立派な鬚を生した者が、そんなに泣くやうに悲むとは――寔にお可笑いだらうと思ふ。父母に別るゝ感じは、中年でも亦青年でも決して違はんものである。若し違ふ所があると云ふならば、それは前途の方針に就いてと云ふやうな事である。つまりこれから先自分が困ると云ふ心配から、それがもう中年から其以上になつては最早大抵さう云ふ心配はない。若し冷やかな理窟から云つたならば、寧つ父母に對する世話と云ふものがなくなつたから却つて手數を省いたと云つてよからう。けれども情に於てはなか／＼そんな事の出來るものではない。多くの人の中には疾にこう云ふ經驗をせられた方もあらうが其情に於ては決して違ふものではないと思ふ。

死は突然に來る

いま一つはこう云ふ事を感じだ。私の父は平常は寔に健康でありましたが、その亡くなつた後でいろ／＼と書かれたものを見て感じました。これは人に別に云ふ可きではないが、父は非常に健康であつたけれども、宗教の信仰と云ふものは寔に厚かつた。學問とては餘りなかつたが併し宗教の信仰と云ふ事に到つては私共は迚も側に寄られん位であつた。信仰が厚かつたからして、從つて此死と云ふ問題に就ては充分に安心をして居れた。この死と云ふ事に就ては些しの不安もなく、所謂老少不定で、死の何時來るか斗られんと云ふ事は常に口で言ふばかりでなく充分に承知をして死なれた、それで私は此死と云ふ――即ち父母に別れると云ふ事が若い時でも同じであると共に此人間が死ぬると云ふ事も亦同じであらうと思ふ。若い時に死でも亦八十、九十乃至百になつて死んでも、此死と云ふ事は些しも變らぬと思ふ。且つ何時死か知れんと云ふ事は、これは如何なる人でも同じ事である。此死と云ふ事は恰も地震がやつて來るやうなものではなからうか、夜中出拔にやつて來るかも解らない又晝とも晩とも夏とも冬とも些しも知る事は出來ない。こうして話をして居る中に、或ひはやつて來るかも解らない。其通りに、此死と云ふものは――、今度伊藤公が哈爾賓で以て韓人の毒手に殪れらたのも實に突差の間にやつて來た問題であつて、若し豫知する事が出來たならば必ずあゝ云ふ事はなかつたのである。實に死は突差の間に起る問題である。

孝行に充分と云ふこと無し

如何なる人でも、自分の父母に死なれて、其時にあゝ自分は充分に父母に孝行を盡して置いたから、もう死なれても澤山であると云ふ人はなからう。私の父は八十三でありましたが、今年死なれると云ふ事であつたならば、あゝもして上げたかつた、又こうもしてをいた事であつたならば嘸喜ばれたであらうと思つて、自分の平常の不行屆な點を殘念に思ひます。また多くの人の中には既にこう云ふ事に出會た方もありませう。幸に兩の健康で揃つて見へる方は、其邊をよく御考を願度い。私共が今日立派な一人前の人間に育てゝ下さつたのは、兩親のお慈悲ではありませぬか。若し私共が不幸にして慈悲も情けもない冷たい人の子となり。或は不具者となるとか、または犬や猫の子のやうに何にも敎育もされずに育てられても仕方はないのです。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

時代の要求する婦人

鳩山春子

戊申婦人倶樂部の發會式は、去月廿一日華族會館で擧げられました。記者も其式にお招きを受けまして、色々な有益なお話を伺ひました。このお話は、席上で鳩山博士夫人の講話をされた其の概略であります。未だ同夫人の校閲を經て居りませんから、萬が一にも御夫人の思召しに違つたことがありはせぬかと、思ひながら締切期限の切迫に、その儘載せることに致しました。文責は私に御座います(千葉生)

婦人の生命―自己の修養
交際場裡の花―引込主義

現代の社會が、日本の婦人に要求する所のものは如何なる點でありませうか、少なくともこの時代思想の要求に應ずる所の理想の會をつくり度いと思ふのが、私共の希望であります。

只今日本に於て、婦人の會は多過ぎる位澤山に御座います。それに又何故新らしく會を設けるかと思はるゝ方があるだらうと思ひますが、この會が今日までの多くの會と、其主義を異にする點は、會員自身のためにすると云ふ事を目的として設けたのが、この會の主な趣意であつて、さうして他の會と異なる點で御座います。今日の多くの會は大抵それ〴〵國家のためとか、社會のためとか、又は軍事上のためとか、或は又慈善事業のためとか、こう云ふ大きい目的をもつて組織せられて居るのが多いのでありまして、寧ろ國家社會を益すると云ふ方面の會は澤山にありますが、會員自身の幸福利益をはかり、或は家庭の圓滿をはかり、若くは身を修め、自己の修養をはかり、會員相互のためになると云ふものは恐らくないと思ひます。そこで私は是非ともこう云ふ會員自身を益する所の會がなくてはならぬと考へます。かくして總ての婦人が各自に立派な修養が出來て、家庭が圓滿に樂しく參りますれば、それが直に國家社會の幸福となる譯であります。

現代の社會に於て、日本の婦人の地位は如何なるものでせうか。若い妙齡な婦人ならば、交際場裡の花とか、女王と呼ばれて、どんな場所に行つても亦如何なる會合に參つても非常な歡迎であります。今の婦人は妙齡な時代が生命であります。些し年をとるとか、お婆さんになりかけると、もう婦人の生命は亡くなつたやうなものである、從つて世の中に出る機會が少なくなると云ふ有樣であります。それで自然家の中に引籠つて居るやうになつて、餘り家庭の外に出ないからして氣分も自然と憂欝になつて來て、若い時代のやうな生々とした―美くしい氣質は年をとるにつれて消ゆるやうになる。さうなるとどうしても不平の心が起り易い、又我儘にもなり易く、嫁の缺點やあらが見えて來て、つい世間で云ふ―と云ふやうなことが起るのであります。これに反して男子は段々老年になるにつれて、社會の信用も出來、あの人は手腕はなか〳〵あるが、まだ惜い事には若いから貫目がないと云つて、却つて年を取つた人の方が用ひられ、又尊敬をされて倍々重く用ひられます。從つて若い人よりは經驗もあつて萬事に缺けた所がない婦人の方はどうかと申しますと、自身の家庭は、何一つ申分なく修め、又子女は立派に教育をして一人前の者にし、經驗も出來、さあ、これから出て世の中のために働いてもよいと云ふやうな時になると、婦人の地位と云ふものは殆ど無用の長物視せらるゝやうな有樣であります。これは今日までの社會にどうしても不完全な、無理な―點があつたからと思ひます。何事でも總て必ず外部に向つて發しなければ内部に向つて來ると云ふことは自然の勢ひであります。つまり嫁と姑の間とか、家庭の不和と云ふやうな事は、ほんの小さな、つまらない處から起つて來るのであります。

現代の社會に於て、此點が慥に缺けて居ると思ひます。それでありますから、此新舊の思想をうまく調和をして、意義ある、愉快な樂しき家庭を作るには、今までのやうな風では足らない點があるから、其缺けた處をうまく補つて行かなければなりませぬ。それと同時に今までのやうに、婦人が引込主義ばかりをとらずに、世の中にも出て働く事が必要で御座います、また會員自身の幸福と利益をはかり、修養を積んで立派な婦人となつて家庭が圓滿に樂しくなりますれば、家庭ばかりでなく、社會の幸福であると思ひます。

料理顧問

◎鹽鮭の蒲鉾 鹽鮭を三枚に卸し皮と骨とを去り、肉をほごし、擂鉢にて能く擂り、凡そ肉百匁に片栗粉盃に一杯、酒三杯、砂糖中杯、玉子一個を擂りながら混ぜ入れ、別に鰹出汁を拵へ、右の肉を適宜に摘み入れ、煮へ立ちたる後、醬油にて鹽加減をなし、青味を放ちて碗に移す。風味宜くして生身と變はることなし。但し鹽鮭の鹽強き時は、一日ぐらゐは水に浸し鹽出しせざるべからず。

◎姜絲肉 これは支那料理で、チヤンスーユーと讀みます。豚のもゝ肉をうすく細く短册形に切り、水から入れて、ざつと茹で、それを水氣をよくきつて食用紅を水にてときて肉に入れて色をつけるのです。葱と、しやうがをうすく切つておき、鍋にラードを少し入れ、其中に前の肉を入れていためて、ねぎとしやうがとを後から入れ、いためて肉をまぜ、其中にスープを少しおとし、醬油と鹽で味をつけ、水氣のなくなるまで煮てからつと煎りあげるのです。

◁豫告▷
本誌新年號は何のやうな新裝を凝して世の中に現はれるか次號に詳しく豫告致します△△
◁豫告▷

談話

法學博士 中川孝太郎

驚くべき不自然の決議

先頃女子教育家連の決議した女學生訓は、實に喫驚すべきものと云ふべきであります。清國の如き病的に陷りし邦家なれば卒知らず、日本の社會が女子教育家をして、古き東洋流の決議、即ち男女七歲にして席を同ふせずとか云ふ―女子を監禁することを道義なりとする狹隘なる制裁の必要は決して無い。

彼の朝鮮の如きは、女子をして外出するにも被衣を着せしめる程嚴格な習慣あるも、道德の頽廢は驚くべきものである。獨逸の如き、佛國の如き、米國の如き、英國の如き、男女の交際は自由放任と云ふやうな有樣でありまして、女學生が學校から歸る時刻には、その學校の門に男學生が待ち構へて居る。未婚者の男女が手を携へて公園等で散策をして居るのを見受ける。素より決して賣春婦なぞでは無い。立派な家庭の人々である。如何に制限をした處で、男女の間は是非相婚するのが自然である。不自然な取締りは、唯だ吾が文明の不秩序なる標式を示すに過ぎずして、寧ろ惡傾向を來たすことなきかと云ふ疑ひもある。

不思議の對稱

英國の婦人中に突飛なる選擧運動を爲して居るものさへあるに拘はらず、同盟國の日本にては變挺な決議をする女子教育家のあるのを見るは、實に不思議な對稱である。先日も獨逸歸りの先輩が、日本の社會は實に道義が隅々までも行き及んで居る。獨逸の如きは醜穢厭ふべしとの土產演舌をした。斯の如き誤つた報告をなす博士は完く自己專攻以外に、獨逸の全社會を研究したのでは無い。自分の住んで居つた下宿屋の女將等を見ての感想であつて、獨逸全社會の研究談ではないと思ふ。

演劇や、教會や、公會や、公園は、西洋では、婚姻すべき男女の媒介所である。互ひに顏を見或ひは話をして、始めて相約し。相許すと云ふことになるのである。併し日本は日本の風習通り從來の儘の美點のみを採つて、それを行へば善いので、嚴格な取締りも、程度を誤ると妙な不思議のものとなるのだ。獨逸歸りの博士の土產演舌のやうに、女子教育家連の決議も大に誤つて居ると思ふ。日本の或る田舍では、東京よりも寧ろ婬靡に流れて居る。娘は父母、兄弟に秘密に忍び男を持つて居つて、如何にも亂れた地方もあるのだ。輦轂の下では純潔な處女が多い。一二の女食ひの惡黨があつたからと云ふて、一國の體面をも顧みないのは如何にも小兒らしい。

功を急いでの不自然

私は論語を愛する。誠に孔子の晩成を好みしに同感である。女子教育家が功を急ぐと云ふ上からして、不自然な、古風な事を試みるは、勞して益なきことかと思ひます。

尚ほ近時の喜ぶべき現象は、女子が職業を得て、男子の或る部分を驅逐しつゝあることであります。聞く處に依ると、計算係としては、男子以上だと云ふことであります。

これ寔に喜ばしいことで、斯の如く、一たび職業を得る以上は、獨立自尊は勿論、節操に於て純潔を守り得ることもなし得らるゝこと故、男子から劣等的待遇を受くることは、自然に稀薄となるのである。これは勢ひの自然である。であるから騷々しい變手古なものを規定するには及びません從來の禮式を遵奉せしめれば最も善いとゝ思ふので御座います。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

私の一日

理窟つぽい今日の若い婦人

男爵夫人 目賀田逸子

昔の婦人と今の婦人

日々のことは、何處の家でも大抵同じでありますから、なにも別にお話申すほどのことは御座いませぬ。

社會のことは、寔にうるさいもので、自分もよく、また人にもよくすると云ふことはなか／＼六ケ敷ことで、また子供の世話から、なにから一切やつて行くと云ふことは、そりや大抵なとでないと思ひます。私なぞは無學でありますから、何も存じませぬけれども、近頃の若い婦人は立派な學校を出たりしてなか／＼學問其他色々な事は皆出來るやうですが、その結果と申す理由ではないでせうが、どうも今の若い婦人は理窟つぽくて、そして隨分中には——婦人があるやうですが。私共のやうな舊式な者には、さう云ふことが果して宜いのか何だかさつぱり解りませぬ。又私共のやうな者の申す言は今日の若い婦人には氣に入らないことが多いでせうが、さうかと申して、近時の若い婦人の氣に入るやうには出來ないことも御座います。

喧しい理窟や議論

學校でいろ／＼な事を敎へられて居りますから、何でもよく知つて居ります。それを實地にやつて行つて無論惡いことは御座いませぬが、自分の都合のよいやうにばかり理窟をつけて、自分の兩親またほかの人に自分の意思が通らないと、少しも分らないとか、何でもさう云ふ風に自分ばかりを主にしてやつて行かうとする。今の若い婦人たちばかりになつたら、それでよいかも知れませぬが、實際この社會は、さう自分の都合のよいやうに、又理窟や、本で覺えた通りには行きませぬ。私は何時もさう思ひます。今の若い婦人たちばかりであつたら、嘸理窟や議論で喧しいとであらうと思ひます。

何は斯うしなければならぬとか、これはこういふ風でなければ理に合はぬとか、家庭の事等はそつち退けにして置いて、また一方には何處の夫人はこう云ふ風をして居るとか、何處そこの令孃はあゝいふ粋な流行のものを着て居つた、頭には何をどうして居つたの、また今の期節にはこんな風姿をしなければならぬとか、そんな事ばかりに力を入れて、それこそ大變な夫人さま方が出來上るとであらうと思ひます。若しさういふ風で家庭がうまく治まつて行けば結構ですが、そんなことで家庭が治まるものでせうか。

私の好きと嫌ひ

冬は何處へも行きませぬ。が、夏は海水に參ります。子供が行きたがるものですから、子供だけでは危ふ御座いますから私がついて行きます。一體私は旅行が好きでありまして、人様のやうに家の中に這入つて居ると云ふことは、どちらかと、云へば餘り好きませぬ。夏等でもさうですが、殊に氣候のよい時分に景色のよい野や山に行くと氣も晴々として、身體のためにも好う御座います。私は別に嗜好とか、又道樂と云ふやうなものは、何にもありませぬ。が、さうかと申してまたこれが、嫌ひと云ふものも御座いませぬ。自分ではやりませぬが音樂でも、生花でも嫌ひではありませぬ。芝居等も好きですが、別にさう見に行き度とは思ひませぬ。

身體の丈夫が何より大事

近頃の方は運動をするにも、やれ室内運動とか、何とか運動とか、また衛生等の事でもなか／＼よく種々な理窟は知つて居るけれども、口ばかり達者で——隨分なかには身體の氣の毒に思ふやうな方があります。幾許學問が出來たつても、身體が弱かつた日には、それこそ何にもなりませぬ。私は身體が丈夫で、旅行が大好きですから、私は子供にも運動のことはよく注意致してやります。勉强も大事ですが、何よりも先づ身體が一番大切でありますから、これは寔につまらん事のやうですが、なか／＼大事なことゝ考へます。

衛生

蟲齒に關する注意

ドクトル 工藤猛材

蟲齒は一般に女子よりも男子の方に多いやうであるが、假令齒列の宜い人でも一寸とした事から齒が缺けて、其孔に汚物が入り、それが腐敗して蟲齒が出來るのであるから、平日懈らずに良い齒磨粉で磨いて清潔にして置かなければならぬ。而して齒を磨くには、一晝夜の中で何時が宜いかといふと、一度しか磨かなければ夕食後に夜磨いた方が宜い。二度磨くならば朝と晩が宜いと思ふ。

齒磨に用ふる藥品としては先づケレオソートが宜い。齒磨粉にてはレモンが一番よく、次はライオンである。煉齒磨も効用は同じである。「ばら」などは惡いやうだ。惡い品を使用するときは、數年の間に、齒質を惡くして了つて、取返しのつかぬやうになるから、齒磨粉は十分撰擇して良いものを使はなければならぬ。又齒が黑くなつて困るといふて、稀鹽酸で磨く人があるが、稀鹽酸は齒の琺瑯質を害するものなれば、固く使用を禁ずべきものである。

蟲齒か出來た時には、初めは金を以て充塡し、次には銀、セメン、ゴムといふ順序であるが、孔の恰好により金を塡めたり銀を塡めたりする。從來は蟲齒が出來ると、直に拔いて了ふたものであるが此方法は極拙劣である。激藥を附けて神經を殺し疼痛を止めるときは、疼痛は止まるけれども、かくすれば全く一本の齒を殺して了ふ譯であるから、決して良い治療法とは言ひ難い。又女子は、多く妊娠中に蟲齒が出來るのであるが、之を豫防するには、毎日良い齒磨粉で磨くか、又は炭酸水で含嗽することが必要である。

蟲齒を他の病症と思ふて誤診したる話も折々聞くが、世の醫師と患者との注意を促すため、爰に予が實驗したる一例を擧げて見やう。その患者は、二十三歲ばかりの女子で、或夜急に蟲齒が痛み出したが、其夜はまづ其儘にして置くと、翌日唾の中に血が入つて居たので、驚いて直に普通の醫師に見て貰つた。すると醫師は、濃を持つてるから切開しなければならぬといふので、患者は直に手術を受けて、内部を切開して見たが、何故か少許の血が出たばかりで濃が出なかつた。翌日は更に外部の切開を行ふたが、結果はやはり前日と同樣であつた。

そこで三日目には、頰より一寸餘も切り開いたが、又々同樣で何の得る所がなかつた。夜になると、血が一杯口中に溜つて、自然切開口が腐敗し初めて、切口を頰より推せば、内に濃が出るやうになつた。其時自分が診察して見ると、齒の痛みは既に癒つて居た。之は熱のため少しく充血せるを見、齒に經驗なき普通の醫師は驚いて誤診したのだ。若し初めに齒科醫の診察を受けたならば、かゝる失錯がなかつたのである。此種の患者には孔を掃除して、根の周圍は藥を附けて置けば、自然癒つて切開せずとも濟むのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

怪談

旅僧の一念（下）

ひじつ

死骸は海中に

恰度そこへ五人の漁夫がドヤ〳〵と入つて來た。赤銅色の中にも苦味ばしつた大男が此の家の主人であつた。男は家へ入るなり、迂散臭げに旅僧と女房の面をヂロリと睨めまわしたが、女房から仔細を聞くや否や、

『乞食坊主奴！　出て行け!!』

と恐ろしい大きな聲で怒鳴つた。

旅僧は痩せ衰へた顔に微笑を含んで四度嘆願を繰返した。

『喧ましい。愚圖々々すると樸り殺すぞ!!』

言下に蠑螺の如き男の鐵拳は骨も碎けよと許り旅僧の頰を横つた。

『疊んで了へ!!』

と四人の荒くれ男共も半ばは面白半分に手取り足取り抵抗の力もない旅僧を往來に引摺り出し、前後左右から且つ毆り且つ蹴つた。憐れなる旅僧は半死半生の體で冷めたい地上に横はつた儘、暫くは身動きも爲得なかつた。こゝで死なれちや面倒だから、一層の事海の中に叩き込んで了へと主人の命令に、情け容赦もあらばこそ、男共は再び旅僧を引擔いで海岸に出て、とある岩の上からザンブと許り逆まく怒濤の中に投げ込んだ。泡だつ浪は爭つて其姿を呑んだ。

物凄き夜半の悲鳴

かくして一同は凱歌をあげぬ許りの勢ひで家に引返した。そして夜更くるまで飲酒且つ食つた。惡酒の醉に前後も知らず、四人は高鼾でその場に寢て了つた。

『助けて呉れい!!　助けて呉れい!!』

といふ物悽い悲鳴が、遠い海岸から聞えて來ると思つて、亭主がふと眼を覺ましたのは彼れ是れ一時過ぐる頃であつた。海が暴れはじめたと見えて、狂瀾怒濤の響きが手に取るやうに聞える。鞺と寄せ鞳と返す浪の音を縫うて、

『助けて呉れい、助けて呉れい!!』

といふ聲が斷續して聞えて來る。

『難船らしいから起きて見ろ!!』

亭主は床の中から怒鳴つた。難船と聞いて寢て居た漁夫共も起きて來た。寢ぼけ眼をこすり〳〵、一人は澁々戸をあけた。雨氣を持つた冷めたい風がサッと吹いて暴風雨模樣の空は一面に薄墨を流したやう。

『助けて呉れい、助けて呉れい!!』悲しい聲が、遠くなり、近くなり聞えて來る。

『親方、難船に違えねえよ。』

『さうだらう！　俺ア先刻からさうらしいと思つたよ。』

亭主も直ぐに起きて來た。此の附近一帶の海岸は古來有名な難所で、破船、沈沒など年に三四度は屹度ある。其の度毎に潮流の加減で、屍骸がいくつとなく海岸へ打ちあげられる。三度に一度は船の破片に縋りついて、聲を限りに救助を呼ぶ者がある。その時には何を措いても村中惣出で救つてやるのが例だ。といつて何も人命がどうの、人情がかうのといふんぢやない。實はその都度官から出る、いくらかの賞金が目的なのである。

主人と漁夫達は大急ぎて家を出た。そして聲をたよりに海岸さして馳つけた、やうやつと海岸まで辿りついてはじめて氣がついた。怪しむべし今の今まで斷續して聞えた悲鳴がヒタと止まつて、耳に入るものは鞺鞳たる浪の音許り――いくら耳を澄ましてもそれらしい響の餘波さへ聞えない。

『可怪しいぢやないか……?』

『どうしたんだらう……?』

四人は期せずして闇中に顧みた。五分過ぎた。十分經つた。けれども怖ろしい浪の呻吟の他は、依然として悲鳴のヒの字も聞えない。

『馬鹿にしてやがらア』

亭主はブツ〳〵呟き乍ら、サッサと舊來た道へと引返した。やがて家近くまで來ると又もや先刻と同じ方角で、風のまにまに斷續して、正しく『助けて呉れい、助けて呉れい……』といふ悲鳴が聞える。ソラッといふので取つて返し、今度こそはと韋駄天走り、海岸近く駈けつけると、又しても忘れたやうに寂寞となる。依然として浪の音――風のうなり――夜は深々として更けてゆく。

『オーイ何處だアい……?』

と呼んでも返事もない。兎に角そこいらを探がして見やうぢやないかといふので、危い足許辿りたどり、こゝぞと思ふ岩角へよぢ登ると、果然！　果然!!　朦朧として立ち現はれた先刻の旅僧――。……咫尺を辨せざる暗の夜にして、姿もあらはに血塗れの顔ふりあげ、ジーッと此方を睨んで起つた物悽さ!!　而かもその左手にぶら下げたる一物は、紛ふ方なくわが最愛の一子と見て、亭主は素より四人が四人、思はず岩からスル〳〵と滑べり落ち、その儘一目散に我家へと逃げ歸つたのである。

赤坊の横死

歸つて見るとまた驚いた。赤坊が居なくなつたと言つて女房が狂氣のやうに騒いで居る。どうした譯かと聞いて見るとつい今しがた影のやうなものが室内に入つて來て、突如赤坊を引攫つて行つたのだといふ。亭主の顔色は眞青になつた。兎も角もと探して見ろと自分が眞先に表口から通りへと出て見ると、こは不思議先刻旅人を半殺にした同じ場所に、片袖を捥れた儘、無慘や子供は氷のやうに冷めたくなつて、見るかげもなく死んで居た！

＊　＊　＊　＊　＊

旅僧の死骸は翌朝直ぐ近くの海岸で發見された。堅く握つた左の手には、死んだ子供の片袖をシツカリと握つて居た。

新年勅題模樣
御半ゑり各種
年末年始御贈答適當品種々
東京日本橋通り三電車停留場前
わんぷらいす しよつぷ
ゑり宇
電話本局二九四七番

各所の集會

□戊申婦人俱樂部　は先月廿一日午後一時華族會館で發會式が開かれました。席上發起人を代表して、棚橋、三輪田、鳩山、嘉悦、諸女史のお話があり仲々の盛會で御座いました。申すまでもなく主唱者のお方は二條公爵夫人です。

□錦秋實用女學校　本郷元町の同校では去月廿八日の午後同校の主義擴張のため講演會が開かれました。

□成女高等女學校　同校卒業の有志家は母校のため去月廿三日青年會館で音樂會を開き實收の純益を擧げ母校に寄附したさうです。

□日本橋簡易圖書館　去月廿六日午後一時日本橋箔屋町城東小學校内の同圖書館の開館式を擧行されましたこれは市立の圖書館です。近頃處々に圖書館の開かれるのは誠に結構なことゝ存じます。

□大日本婦人教育會　は去月廿日午後二時毛利公爵邸で秋季總會を開き總裁閑院宮妃殿下會長毛利公爵母堂副會長鍋島公爵夫人を初め來賓及會員約三百名出席大層な賑はひで午後四時散會になりました。

□同仁會第四回大會　去月廿日午後二時から大隈伯爵邸で開かれました會長大隈伯の開會の挨拶丹羽副會長の報告があり終つて園遊會が開かれ午後四時散會。

□東京市講演會　去月廿七日午後六時から神田東京高等商業學校講堂で第八回講演會が開かれ棒博士の責任論、山川博士の電氣鐵道の講演がありました。

▲社告

來る明治四十三年宮中御歌始會の御題

新年雪

と仰出されたるに就き、本誌愛讀の諸氏に限り、特に當發行所にて取纏め、囑託選者の豫選を得て、宮中へ差出可申に付、御希望の方は料紙（半紙）へ、住處姓名族籍等を明記の上、十二月廿日限り出詠相成たし。

愛國婦人發行所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

浮世眼鏡

英國から新歸朝の 閨秀畫家 犬塚絹子孃

金の鯱鉾と素木作りの御殿風の建物とで一時評判であつた芝は高輪の淺野さんの屋敷の向ふ側、田町七丁目三番地、電車通りへ向つた奥幽しい一構へがある。門標には『犬塚』と唯つた二字。

これが先月の十六日、三年間の螢雪の苦を嘗められて、歸朝された新進の婦人畫家犬塚絹子孃のお住ひである。

新進の婦人音樂家、女優、女醫師を紹介した次に、此新進の婦人畫家を本欄に掃むのは適當の順序であるから、絹子孃が御歸朝の風評を聞くが否、お宅の方に就いて種々伺つた、それを掻い摘んで此處に載せると……。

犬塚絹子孃

▲珍しい組織の美術學校

先づ絹子孃の出身は、女子美術學校の洋畫科。御婦人の身の――しかも何不自由の無いお生れであるのに、好嗜が勵ます繪畫熱に、殊稱にも單身英吉利へ渡られたのが去る三十九年の五月。頓て海陸無事に英國に着さるゝ早々、入學されたのが、英京倫敦で有名なコーブ氏の美術學校。――絹子孃は、此學校で魂を洋畫に打込み、夢の三年、熱の三年、充分に腕を磨かれたのである。

お話に依ると、この美術學校は、午前十時から午後の一時まで、午後の二時から四時まで、四時半から六時まで、七時から九時までと云ふ四部教授になつて居り、此各種の時間のうち、各自に都合の好い時間を擇んで通學することになつて居る。何か他に職業のある側ら繪を學ぶ人なぞのためには、誠に都合の好い教授組織であるが、美術に限らず、すべての學校に於て、我が國には此のやうな組織になつて居るのを聞いたことは、何うも未だ無い、追々日本にも、かゝる組織を學ぶ學校が出來ることゝ思ふ。

▲入學と模寫の自由

お話に依ると、コーブ氏の美術學校は組織の便利なばかりでなく、入學の手續も至極手輕なものである。これは日本のやうに、公德心の未だ充分に發達せぬ國では行ひ得られぬとかも知らぬが、兎に角、口頭で住所と姓名を云ひさへすれば、直ぐに入學が出來るのである。外國の人であるからと云つて、大使館の手なぞを煩はすやうなことは夢更に無いのである。これは啻にコーブ氏の學校ばかりで無く、何の學校でも、履歴書とか、在學證書のやうなものを出すに及ばないさうである。如何にも簡單なことである。

それに未だ〱羨しく思はれることは模寫の自由である、と、語らるゝ。それは何う云ふことであるかと云ふに、自分で書いた畫を係員に見せ、技倆が認められると、世界の名畫を集めた英國々立繪畫館へ這入つて、自由に模寫することが出來るのである。斯う云ふやうな自由は未だ〱我が國には認められぬ。流石は英國であると、記者も、羨しく思ふ。

それから、之れは畫のことでは無いが雨天の折、外套や靴を乾す爲めスチームを室内に備へ置いて教職員生徒の用に供へてある。かう云ふものは、早く我國の諸學校や會社なぞにも欲しいものと、物語られた。これも御尤もなことゝ、記者も同感にたへぬ。

お土産話は、此他に未だ〱あつた。しかし、誌面に限りがあるから、此邊にして、此他は此處に揭げた、英國で撮映の孃のお寫眞と、倫敦の近郊を寫れた、最新の畫法に成れる孃の油畫の寫眞とに依つて、孃の爲人を想像されたい。

日本畫の方には、有名な婦人畫家が仲〱ある。併し西洋畫の方には、未だ甚しく有名な婦人畫家の無い今日、新歸朝、新進氣鋭の絹子女史の名が我國の洋畫界に於て、重きを置かるゝの日一日も早からんことを、切に望みつゝ、記者は茲に筆を擱く。

新懸賞の結果

十一月五日締切の投書總數は
七百二十一通
で御座いました。そこで七百二十五
と云ふのが一番近いので
愛知　加藤雪子氏
を二等に五百二十十通と記された
東京　小山季茂氏
を三等に定めました

[illegible]特許天賜[illegible]應用●入會ハ今ナリ
新式 造花通信教授
本會ハ造花蝶動物果實僅三ヶ月卒業●
會費壹圓六拾五錢●要規則書參錢
東京市京橋桶町城邊河岸四〇　新式造花學會
（振替貯金口座第一九六九六號）

毎日おぼえ帳

春子の母の　雪子

あゝ、眞に〱可厭になつて終ふ。つく〲此の身の此の心の足はぬがちなるに、愛惜が盡き果てゝ終ふ。

は十二月のお一日。お老人は、何よりも緣起。一日にお一日から緣起でも無いと、仰せらるゝに、そのお一日から思ひも寄らぬことにてお氣を惡くおさせ申せしは、誠に申し譯も無いことかな。

起因は春子のことからなり。

唯この間から一人寢の出來るやうになりし春子、手に母たる私の乳を持たで一人寢の出來るやうになりし二歲と十ケ月の春子、前宵は何うしても一人寢が出來ず。寢床の裡から、しきりに母よ〱と呼びし揚句の果には、泣き出しぬ。

その泣くが不愍よとて、祖母上には春子を我が褥上へ連れてよと、の給ふ。仰せに從ひ祖母上のお褥へ連れ行くほどに春子は、祖母上の乳房手弄りつゝ、幾程も無く眠れり。

お話は其翌朝のことなり。

早起の春子、例日のやうに、朝の五時に起るが否、前宵お約束の風呂敷を給ひねと云ふ。われは、前宵、をとなしく一人寢せざりし故、約束に從ひ與へじと云ひしに、泣くことを唯だ一つの好武器と何時の程よりか合點せし春子は、聲高く泣き出しぬ。

と、見る間に、祖母上のお顔に現然と御立腹の樣見えそめ、お一日の朝より子を泣かすとは、何事ぞ。子供が解らず屋なりとて、叱るほどならば、其やうな解らず屋を生みし親をこそ叱れ、と、恐しき御立腹。

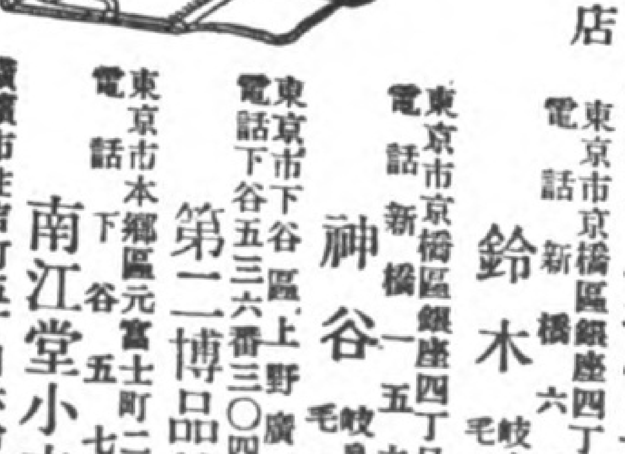
あゝ、御立腹も御尤もぞ。されど、されど、……あゝそれよりも以上は申すまじ、記すまじ……何にもせよ、此の身の心の足はぬからなり。心の足はぬが恨しきなり。

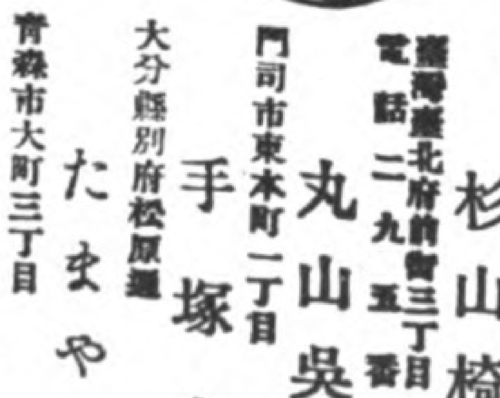
專賣特許　一森式座椅子

一箇にして安樂椅子となり又寢臺ともなり疊込めば縮少して携帶に便なり
但圖面入說明書篇と御覽の上御使用下被度說明書は御申込次第進呈可仕候
尚本品は高尚優美にして年末年始の御進物用として至極適當なり

定價
壹臺　金五圓以上　一更沙布團付
壹臺　金六圓五拾錢以上　一リンス布團付
壹臺　金七圓五拾錢以上

製造發賣元　東京市芝區下高輪町廿一番地　電話芝一〇九五番　振替貯金口座一八七六七　樂民堂





特約店　販賣店
東京 大阪　三越呉服店
東京市京橋區銀座四丁目十三番地　電話新橋六五六番　岐阜提灯 毛織物　鈴木店
東京市京橋區銀座四丁目十一番地　電話新橋一五六一番　岐阜提灯 毛織物　神谷店
東京市下谷區上野廣小路　電話下谷五三三六番三〇四四番　第二博品館三階
東京市本郷區元富士町二番地　電話下谷五七番　南江堂小立商店
橫濱市住吉町五丁目六拾八番地　電話一〇七二番　杉野洋服店
靜岡市札ノ辻町十八番地　杉山椅子店
臺灣臺北府前街三丁目　電話二九五番　丸山呉服店
門司市東本町二丁目　手塚商店
大分縣別府松原通　たまや商店
青森市大町三丁目　野崎洋物店
東京下谷區上野廣小路　發明品第一陳列會

王樣の難題

高橋我川

その二

意外の難題に、老僧も大に困りました。けれども返答が出來ぬと云へば生命を取つて、財産も取り上ると云はれる。と云つて返答は容易に出來さうにもありません。詮方がありませんから、兎も角も暫時の猶豫を願つて、其の上に考へて見やうと思ひまして、

僧「畏れながら御尋問はあまりに難しうございます。誠に意味の深い御尋問でございまして、只今直ぐに御答は致しかねます。けれども二週間の御猶豫を下さいますれば、出來ます丈の御返答は申し上げます。

王「ナニ、二週間の暇を與れと申すのか？ 宜しい二週間の猶豫を與へ遣らう。が、若し返答が出來なかつたら其時にはいよ〳〵首が無くなるんだぞ。財産も何も皆余の所有になるんだぞ。宜しいか。乾度忘れるな！」

と、漸やう猶豫を許されましたので、老僧もホツト一息は爲ましたが、元來別に目的があつて二週間と云つたのでは無く、たゞ一時免れの爲に云つたのですから、考へて見れば心配で堪りません。何と答へたなら王樣の御氣に入らう。如何したら生命は助かるだらうと、色々思案に思案を重ねたが、妙い考案も出て來ませんので、悄然として悲んで御殿を下りましたが、不圖思ひ浮んだのはオックスフォールドの町に行つて見やうと云ふ考です。このオックスフォールドの町には、立派な大學校があつて、世界に有名な學者や偉い敎授達も居るのであるから、其の人達に聞いて見たならば、自分を助けて與れる人もあるかも知れない。と云ふので早速訪ねて參りました。

けれども、敎授達も書物に書いてあることなら、如何樣なことでも知つて居るが、ヂョーン王樣のことは、書物には無いから何とも詮方が無い。と云つて斷られました。乃で今度は外の大學のあるケンブリッヂと云ふ所に參りましたが、此所でも同じことで、誰れ一人として妙い考をして助けて與れると云ふ學者もありません。

此樣なことして居る中に、日數も追々經まして、殘りは一週間となりましたので、老僧も最早如何とも詮方が無い。もういよ〳〵王樣の手にかゝつて死なねばならないか、如何にも情けないことである。せめては知己の人々や武士達に、最後の別れでもしやうと、憂いに沈みながら我家の方にと歸りました。

（このお話は第百八十六號よりつゞく）

英國倫敦の近郊 （犬塚絹子孃筆）

「文苑投書規則」

一、住所氏名を明記のこと、但し誌上の匿名は隨意
一、短文は一篇百八十字以内のこと用紙は隨意
一、新體詩には一切制限を加へず。
一、各欄とも特選三人に對し賞品を贈付す。
一、誌上に發表の後十日以内に賞品受領せざる時は其旨遠慮なく申出られたし、五十日後は無効とす
一、五日發行の分は前月十五日、廿日發行の分は同卅日締切とす。

雜誌の雜誌

▲家内二人で牛の片股

（「日曜新聞」第一號） 德川賴倫侯

今日の家庭では兎角に實際と理窟と合はない事が多い樣です。之れは英國に居た時分聞いたことですが英國の割烹學校の卒業生で家庭を作つてからは、毎朝市場に買物に行く、家内は僅かに二人ばかりなのに肉屋に行つて牛の片股を一つ買つて來た處が多過ぎて容易に食ひ切れず遂に持餘して捨てゝしまつたさうですが是等も學校では單に片股の肉を用ふることを敎はつた爲めで、實際に當つて其加減が出來なかつたのであります。

▲無禮とは何う云ふことか

（「女學界」三四） 理學博士 坪井正五郎氏

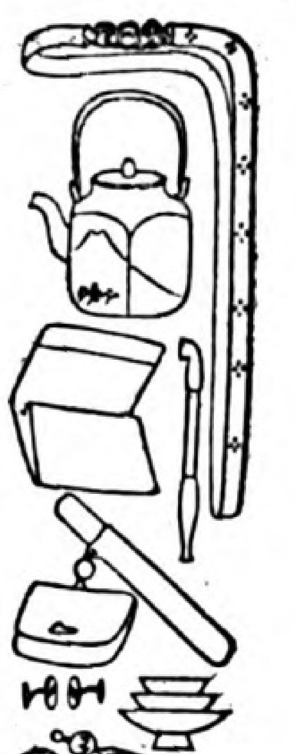
人は肌を出し體を見せるのは無禮だといふが、決して左樣ではない。夫れは衣服を纏ふ國で、若し裸體でゐたらば、尋常以外の風姿をして居るから、それが無禮なのである。若裸體の人種の所で着物を纏ふて行くと却て之は無禮かもしれない。たゞ他人の風俗に從はず已れ一人目立つた事をするのは見苦しいから、之を無禮といふのだ。例へば男子は斷髮する規則だのに、女の樣な髷を結び、女の樣な風俗をすると目立つ異樣のことだから無禮と云ふのである。

東西南北

此程南山寺の一休寺へ茶の湯の友同行五人にて遊び候閑寂の境おのづから佛心に相成候、一句御笑ひ草に參らせ候かしこ――落葉と飛花とをかしき輪廻かな（京都初子）ます〳〵みけしき麗はしく御出あそばされ候や御伺ひ申候云々（横濱まつ子）△つくば樣御後目つぎ給ひし由何卒以後御指導下され度願上候（本郷えい子）皆樣へ申上げます御心入れの御手紙下されありがたく御禮申上げます。多忙の身の仲々充分なことは思ひもよりますまいが私も精々勉强致すつもり、就ては文苑々友皆さまにも一層の御同情を與々も願ひます。尙多忙の上筆無精故一々御返事はさし上げかねますが、面白いことでも御座いましたら御知らせを願ひ置きます（去つか）△記者より兼て皆さまから募りました短篇小說も諸方から集つて居りますこれは追々と揭げます。また和歌俳句等に對する賞品は此間皆樣へ殘らず差出しました。が、御宿處不分明の方だけは差上げませんでした何卒御宿處お知らせ下さい。また若し賞品お受取りにならぬ方があつたら御手數でも御一報下さいませ（係）△賞品のお禮 鈴木まつ子、日野千鶴子、望月米子、上杉らく子、山本ふみ子大橋まさ子、佐野くに子、後閑らく子、坂本さま子、諸姉から御丁寧な賞品受領の御禮狀が參つて居ります△文苑欄とに就て 誌面の都合で當號限り文苑欄を一回だけ休みます

新刊紹介

◎蒙古土產 著者は一宮操子女史。「胡砂吹く風に胸轟かし、蒙古の月に二千里外の憂を塵」されたお方。その實地の見分に基き稿を起し、達者な筆で淸國各地から蒙古までの風俗、人情、地理等を親切に寫し出したもの。机上に成つた空想の著作とは異つて、特別の味ひがあり、第一頁から讀み出すと思はず知らず終の頁まで讀み了らなければ氣が濟まぬやうになる。これは作者才筆の力にも依らうが、評者には未だ耳新しい觀察が記されて在るが爲めであらうと思ふ。殊に著者が婦人である爲め、婦人に對する觀察に正酷を得た面白いと思はれる節が多い。紙質も好く面白い珍らしい挿畫が惜氣もなく澤山挿まれてあつて定價は僅かに八十錢は至廉である（京橋南紺屋町十二實業之日本社）



◎ヒスイ應用金屬裝身具
◎ハイカラ銀細工器
（何處迄も日本趣味を保持し目新らしきの種々有之候）
美術袋物類 金屬煙管類 帶〆、指輪、簪、 手釦、胸針、襟止 金銀茶具盃類 ハイカラ銀器類
…袋物仕立並に金銀細工致候…
新橋際銀座通 佐竹商店 （電新千三十一）

小兒科專門 西川醫院
本所綠町一丁目卅一 南わり下水際 電話浪花三〇七三番

半ゑりは神田赤のきんに限る
十二月十五日ヨリ歳暮賣出し
本店 神田表神保町壹番 電話本局二八五三
出店 新橋博品館階上

年末年始御進物案内
流行冬帽子 小兒用帽子
シヤツ、股引 カラ、カフス
ハンカチ箱入 手袋、沓下
和洋化粧品 敎育玩具
東京市神田裏神保町一 電本三五三一番 中久商店

ヒステリー
は精神療法に限る郵劵貳錢を送れば其案内書を進呈す
東京芝區愛宕町一の二 精神研究會 電話芝一九三四番

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

十二月一日ヨリ

歳暮大賣出し仕候

總て下落相場品澤山取揃置申候

均一品　金壹圓　金壹圓五拾錢　金貳圓　の三種

組反　表うら組合特別廉價に發賣仕候

日本橋通四丁目

松屋呉服店

電本局　六〇八　七一六

羽織紐　婦人帯締　組糸一式

東京日本橋

組糸舗

電話長一五

明治四十三年用新版發賣

家計簿　羽仁もと子編　定價四十錢　郵税六錢

▲年々使用者の數を增し今では家政に注意する大抵の家庭で此家計簿を用ゐて居らぬ所は無い▲此家計簿の示す所に從て居さへすれば心配なく一家の經濟を取扱ひ日を逐ひ月を逐うて家計の健全を來すことが出來る▲記入の方法は極く簡易で誰にも氣樂につけられる

主婦日記　羽仁もと子編　定價卅五錢　郵税六錢

▲一日の豫定は前夜に於て一ヶ月の豫定は前月の終に於てそれ〳〵記入するやうになつてゐる日記▲毎夜十分か十五分の時を割き翌日の獻立買物其他の用事を豫定し此日記の指し示す通り記入したならば周到にきまり良く而も何の心配なしに家事を執つて行き得る

▲婦人必讀書類

加藤醫學博士述　羽仁もと子筆記　育兒法　價六拾錢　郵税八錢

文學士皆川正禧譯　淑女の美徳　價五拾錢　郵税六錢

四洞たみ譯編　偉人に及ぼせる婦人の感化　價六拾錢　郵税六錢

ヘレン・ケラー原著　わが生涯　價五拾錢　郵税六錢

羽仁もと子編　如何にして家計を整理すべきか　價卅五錢　郵税四錢

內外出版協會譯述　理想の母　價貳拾五錢　郵税四錢

文學士皆川正禧譯　母の道　定價金貳拾錢　郵税貳錢

博士ファラー原著　文學士吉川秀雄譯　家庭小說　三家庭　價金壹圓　郵税八錢

婦人之友記者　羽仁もと子編　家庭に於ける職分　五拾錢　税　錢

家庭問題　卅五錢　税四錢

販元　東京巣鴨傳中　內外出版協會　振替貯金口座東京第三百五十五番

瓦斯コークス専用　日本暖爐

●暖房器に對する吾人の理想は●

一、室内の風致を添へ優美の體裁を具ふる事

二、携行自在にして輕便なる事

三、其の洋室和室客室事務室なるとを問はず何れにも適應すべき事

四、あらゆる階級を通じて需要に適すべく價格低廉なる事

五、燃料消費高一時間僅に五六厘にて足る事等なり

みよし組は本器を以て如上の資格を完備する者と確言す

實用新案登録出願中

定價八圓　特價六圓五拾錢　五百限

發賣元　東京九段　みよし組　電話番町長333番　振替口座東京18762番

年暮年玉御贈答品

絹 綿 麻　ハンカチーフ　各種

流行の　絹首冠卷

金牌　シャートル博覧會に於て

金牌　全國特産品博覧會に於て

東京市日本橋區フキヤ町　中西儀兵衛　電浪七百番

衣裳中入

專賣特許　實用新案　吹留眞綿（ふきとめまわた）

販賣店　全國各呉服店各綿問屋

●吹留眞綿の眞價世間に知られ頗る好評

●吹留眞綿は品質精良最も清潔

●吹留眞綿は衣裳中入として至便經濟

●吹留眞綿はすいださず衣裳の形をよくす

●吹留眞綿は普通眞綿二倍の温さにて丈夫なり

製造元　麻布狸穴町　吹留眞綿製作所

十二月一日より　歳暮大賣出し

神田今川橋

松屋呉服店

御仕着物并に御贈答品は申に及ばす歳末年始の御支度品一切御揃へ置申候殊に商品切手は体裁優美の物調達可仕候

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

●無代價之書籍

▲本書中には催眠術と對人心理感應力なる天啓を現示す

紐育科學協會は、催眠術。對人感化力及び感授治療に關し、非凡なる書物を發行せり。此書の特點は、他に比類なき編纂法に依り、內容豐富新規にして且つ有力なる事實を博く包含し、極力詳細に論及しあり、然して、此の新規なる學說に對し、熱心なる趣味を有する人々には、無代價にて、一定の期間を限り、分與することゝせり。蓋し該書は世界に於ける最も著名のみならず、各自の思ふまゝに他人に感授せしめ、音樂戲曲上の技能を上達せしめ、其他各自の收入を增し、叉天眼通力を具備せる英氣を增し、或ひは朋友知己に對し、云ふべからざる親善ノ愛情を永遠に增し、社會に於ける一大勢力家として認識せらるゝに至る。

本協會は、概ね是等の術を知り得る眞理を敎授する任に當り、世界に於て、催眠術專門家二十餘名の執筆に係かり、完結せられたるを、更に和譯印刷したるを以て、本書の價値を推定するに難からず。抑も、催眠術は、諸士の記憶力を增進し、膽力を强め、誘惑に打勝ち、功名心を皷舞し、成功の果實を收め、自己の眞價を發揚して他人をして信頼せしむる力を與へ、總て支配し得べき心理の秘密を覺知するに必要なる鍵と比しきものなり、然して、諸士が此の斬新にして神秘的科學を理解せられたる曉には、自然言語動作も高尚美妙の域に達し、夫れに依て他人に與へし暗示は一年の時日を經過したる後と雖ども、感授の當時と異なるなし。又讀者自身は勿論、他人に對し、惡性の習慣及疾病を治癒し、其他不眠性、神經衰弱、疲勞或ひは心中の煩悶を慰安し元氣を回復せしめ、尚且つ感應者の覺知せざる間に催眠せしめ得るのみならず、各自の思ふまゝに他人に感授せしめ、且つ、財貨を增殖する事等は容易に行ひ得べし。

紐育科學協會は前述の各項を修得し得ることを敎授し其の有效なることを保證するものなり、現に本會は催眠術敎授所としては全世界に於て他に比類なき盛大のものにして、本會は、州法の規定に準據して公認特許を得あるを以て、本會の約言せしものは、凡て誠實に之れを果すことを誓ふ。今般公表せし無代價送呈の書籍一部希望の方は北亞米利加紐育州ロチエスター市紐育科學協會宛て此の際萬國聯合郵便葉書を以て申込まるべし。

NEW YORK INSTITUTEOFSCIENCE,
DEPT. 512, F „
ROCHESTFR, N.Y.,
U.S.A.

通信は總て日本語にて宛名は英語にて記されたし英語の解けぬ人は右宛名を切抜き端書の表に貼るべし

院長診察月水金木前松田醫學士診察火土
前時者施診火木前入院診斷隨時應需松田
林所副長は日下當院に在勤
電本 八八八(病院用) 八九八(宅用)　東洋內科醫院
東京神田區駿河臺鈴木町二(御茶水橋畔)
院長 醫學士 高田畊安
神奈川縣高座郡茅ケ崎村濱(停車場所在)　南湖院

皆様
今日もまた丈夫で元氣で心から愉快に
「暮す様」
「ゼム」を今すぐ召上れ
消化と毒けし
ゼム
懷中良藥
口中香錠
▼全國各藥店にあり

東京神田美土代町三丁目十七番地
內科一般 午前宅診 午後往診 板垣亭
電話本局貳千九百七十番

小兒病診療 往診午後 宅診午前
淺草區新福井町二(猿町電車停留場際)
醫學士 內田愼太郎
(電話下谷七一八)

女流界の最大勢力者たる姉妹雜誌

女學世界
十二月一日發行 拾六號 正價廿錢
郵二◎金稅十冊三拾錢
稅錢前郵共六分圓貳

◎名流婦人の日常生活(婦人記者)
▽和洋折衷の生活法……尾崎市長夫人
◎大山公爵夫人の世間話(婦人記者)
▽クラスメートの評判記……覆面記者
◎新婚夫人の新家庭談 佐分利夫人
▼活動する人と整理する人……小崎千代子
◎戀に悶ゆる內藤千代子 內藤千代子
▼墮落せんとしたる私の友……友子
◎女房より見たる獨身の女教師(野の百合)
▼病院で生產をした私の經驗……小柳里子
◎出入商人より觀たる各種の奧樣 無名女
▼男子の目に映じたる鐵道の女子雇員……一事務員
◎東洋女學校を訪ふの記 藤井瑞枝
▼大山公使夫人の歐洲貴婦人の社交談……婦人記者
◎女子美術學校評判記(河岡潮風)
▼九州第一自慢の博多市……みなつくし
◎私の再婚して今日の資產を得た其徑路 小野崎たつ子
▼鳥の本能と智慧森下生△避病院の六週間……
◎共立女子職業學校評判記(河岡潮風)

少女世界
十二月一日發行 拾六號
正價拾錢 郵稅一錢
◎前金稅共十一冊一圓五十六錢

口繪 ◎初雪……柴崎美方筆 ◎冬の空……橋本邦助筆 寫眞版四枚 依例鮮明 美麗 興味津々
◎火借の森 月姬の昇天 巖谷小波
◎少女訓話 繩張りの外 鈴木校長
◎クリスマスの花東 西村渚山
◎滑稽小說 三人娘 海賀變哲
◎アメリカ通信 ◎本居先生の歌 ◎上海少女公園 ◎東京府立第一第二第三 高女運動記
◎唱歌山の初雪 ◎裁縫上手の兵 ◎九州旅行記 編物の話
◎少女小說藥とり: ◎第十二回筆蹟發表 ◎春の增刊懸賞問題 ◎其他の材料益豐富

東京市本町三丁目 博文館發行 振替口座二四〇番

岩佐病院 日本橋區蠣殼町二丁目廿三番地 (電話浪花六七九番)
診察時間 自午前九時 至正十二時
內科婦人科 院主 岩佐純
內科 院長 ドクトル 岩佐新
外科 醫學士 山村正雄
產科婦人科 醫學士 西村漸
腦病脊髓病 醫學博士 土田卯三郎

水原產科婦人科病院
○神田猿樂町十二番地
○電話本局千八百九番
○院內ニ產婆學校あり

◎產科婦人科
芝、明船町十九虎門外
電話新橋三三二四番
櫻井克巳

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

社告　廣告主へ御用の節は愛國婦人雜誌上にて見たる旨御申添願はしく存候

宮内省御用達
最上醬油之元祖
上
開業貳百六拾五年
醸造元　下總銚子町　濱口合名會社
振替貯金口座五〇貳壹番

最上醬油
品質優等ニシテ調理ニ適ス
發賣元　日本橋區小網町三丁目廿七番地　濱口吉右衛門
醸造元　千葉縣銚子町　濱口吉兵衛

東京勸業博覽會二等賞受領
都足袋粹乃友
都足袋は外觀優美にして踵に縫目なく衣服の裾を傷ふことなく製作に最も注意を拂へり故に其の履工合尤もよろし
（拾足以上は送料當店持）
東京日本橋室町三丁目
龜屋　宮内淸兵衛
電話本局一七一二番

妾事薄毛にて種々藥を試しも効なく醫博士合夫人所迄三百者へ
より寄贈を得薄毛も濃くなり生へざる毛生じ嬉さの餘り困る方に分與せしに餘の禮狀を受け不思議のまゝ尚困難くゝ三錢郵券添御照會あれ……
東京々橋越前堀一ノ四　河村愛子

小兒病一般
京橋區南鍋町風月支店斜向　電新四八八壹
宅診午後　醫學士　福田謙之

腦神經精神病科
病室清新　診療確實
東京龜戸町　電話浪花二五五二
加命堂腦病院

嫁入道具
京都美川謹製
宮崎タンス
電一八二〇番

産科婦人科小兒科
院長　女醫　鷲山彌生
診察時間　毎日午前八時より
内科部長　醫學士　武智基造
醫員　診察時間　毎日午後三時より
診察時間　火木土午後壹時より
病室及産室の設けあり入院隨時
東京市麴町區飯田町四丁目卅一番地
東京至誠病院　電話番町二二五七

十二月一日より
歳末大賣出し
東京日本橋
白木屋呉服店
◎絹物下落に付今季賣出しの呉服類は格外低廉に御求になられ升
◎歳末年始の御贈答品は當店陳列品の中から撰擇なさるに限り升◎
◎新年御題に因める新案帶地帛紗半襟の類は皆流行の魁揃ひです◎
◎扶桑名勝模様と●●●●グローリー織とは相競ひ錦上に花を添えて居升◎
◎御羽子板は流行の逸品を取揃雜貨類と共にまるで花壇の様です◎
◎御贈答用に便利なる當店切手は呉服洋服に共通して至極妙です◎
◎●●●●よせきれ見切反物は例に依り珍柄もの三階に溢れるばかりです◎
◎御定紋付八千代黒染第二回懸賞販賣〆切も愈々本月十日限です

▲意匠嶄新破格廉價札付

櫛（儀式用鼈甲）笄
櫛（象牙蒔繪）中差
簪（金銀寶石入）指輪
帶止　ピン
玉（珊瑚珠翡翠）替
根掛
化粧品

格安土州珊瑚直取引市價よりは三割方廉價
御便利為御持古るしの小間物引取交換仕候
東京市神田須田町（電話本局二〇七六番　振替口座二八一一番）
小間物商　三井屋徳次郎
支店　京橋區新橋際　博品館内支店
神田裏神保町　東明館内支店

斜視
（本院）
眼科　一般　特に成形手術
牛込市谷田町三の廿新見附外　畑眼科院
電番一八六六　入院隨時
（分院）
芝區田町札の辻電車停留場前

專賣特許名和式テンピ

嘗つて婦人世界誌上に於て弦齋夫人の料理談中其の効用を稱せられたる和用兼用テンピなり
大三圓中二圓五十錢小一圓九十錢
特許竈
特許風呂
東京日本橋區蠣殻町二ノ十五
名和商店
電浪一一七七
振替口座一〇二五四
支店神田和泉橋通松永町十八

説明書
御希望の方へ進呈

AIKOKU FUJIN

(THE PATRIOTIC LADIES).

A Fortnightly Home Journal.
Circulates in all parts of Japan; Official Organ of the Japan Ladies Patriotic Society.

Head Office: Iida Machi, Kojimachi-ku, Tokyo.

All communications respecting European and American Advertisements should be addressed to

THE FAR EASTERN ADVERTISING AGENCY
(Toyo Kokoku Toritsugi Kaisha),
38, Naka Machi, Kobe, Japan.
(or London Office: 57, Craven House, Kingsway, .WC.)

見よ見よ見よ見よ見よ見よ見よ見よ

婦人世界

拾貳月一日發刊　四卷四號　拾五錢　定價一冊　郵税一錢五厘　一年分郵税共　二圓五錢

▲良人と共に竈を築きし苦心の實歷……板谷丸子
▲大地震に遭ひたる實驗……澤村鶴子
▲三越呉服店の裁縫部を見る記
▲令嬢と記者と氣合で習字を學ぶ記……
▲苦學の弟を助けて勉强した婦人
▲母乳で子を育てる親の注意……加藤博士
▲夫婦の情と親子の情……村井弦齋
▲家憲を作りし貝嶋家の十夫婦……訪問
▲大酒家の良人を禁酒させる妙案……安藤太郎
▲京都の女學生と東京の女學生
▲七十歲の老人三百人の園遊會……
▲雇人口入所を訪うて女中の話を聞く……記
▲二十年間日記をつけた實驗……棚橋絢子
▲結婚のために渡米した婦人……島貫兵太夫

東京京橋南紺屋町　實業之日本社　（電話新橋八四七番　郵便振替貯金口座三二六番）

シモンクレーム

全く理想的美顏料として目下世界到る處の貴婦人令嬢間に盛んに賞用せられつゝある
佛國シモン會社製
は皮膚を白くし滑かにし又顏や手足のあれ、唇のワレ、霜ヤケ、ひゞ等に對する無雙の良劑なり
日本代理店　横濱七十番　エー、ハイム商會
（各地有名なる和洋化粧品店にあり）

麝香獸印　ムスク香水

大瓶　壹圓
中瓶　六十錢
小瓶　二十五錢

芳香の永く保つ點にて高評也

（注意）近來類似品を販賣する者あれば御買求の節は右瓶の形狀及び二頭の麝香獸に御注意を乞ふ市内賣藥小間物化粧品店に於て販賣致し居り候

東京日本橋本石町四　松澤常吉

金銀盃類

貴金屬寶石美術品袋物一切何品に依らず迅速と廉價を旨とし誠實に新調又は改作の御用相勤め可申候間何卒一層の御引立を以て多少に不拘御下命被下度奉願上候

宮内省御用達　玉寶堂
電話下谷　特九六五番　一二四四番

色白く艶をだす
松澤ホーサン石鹸

（大形廿錢　小形十錢　新小角）

●近來類似品あれば御買求の節は上部の商標に御注意を乞ふ○市内賣藥小間物化粧品店にあり

東京本石町四　松澤常吉

にきび　チプリ

到る所に販賣し升
廿グラム入　二十五錢
東京本石町　松澤常吉

最上醤油　キハク印　一番

於米國路易博覽會　名譽大賞牌受領

名譽大賞牌受領　米國アラスカユーコン太平洋博覽會に於て

釀造元　千葉縣野田町　茂木七郎右衛門

キハク印醤油は味がよくて調理にかなつて居ると云ふことは皆さん一般の評判ですどーか其あぢのよくてそして經濟であると云ふことを御ためし願ます

東京支店　日本橋區小網町三丁目　中野長兵衛　電話浪花五七七四

明治四十二年十二月五日發行（每月五日廿日二回）（定價金三錢五厘　一ヶ月七錢郵税不要）（廣告料一行金六拾錢）
發行兼印刷人　山澤俊夫
編輯人　永持德一
發行所　東京麴町區飯田町　愛國婦人發行所
印刷所　東京市牛込區榎町　日清印刷株式會社

愛國婦人廣告取扱
神田三河町一ノ一九　博報堂
京橋宗十郎町一七　正路喜社
日本橋蛎殻町三ノ十一　大興社
京橋區南紺屋町一　一星社
神田須田町廿七　金蘭社
京橋區　廣告社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

附錄 愛國婦人會記事

前會長以下前職員慰勞會

去月廿二日午後二時華族會館に於て總裁殿下御臺臨の下に前會長岩倉公爵夫人を始め前副會長一條公爵夫人前理事德川公爵夫人同島津公爵夫人同谷子爵夫人前顧問千家男爵前會計監督佐藤少將前事務長松平子爵等前職員慰勞會を開く先づ階上　總裁殿下御座所に於て岩倉前會長に慰勞の印として金側時計を、佐藤前會計監督代理濱尾理事に金鎖付金時計並に慰勞金五百圓を御親授あり當日の不參者島津前理事に紅白縮緬一匹、松平前事務長に置時計一個を御使を以て御下賜あり右終つて後當日來會の本部支部職員一同に拜謁を賜ひ更に殿下食堂に御臺臨職員一同と立食を共にせらる尙立食に先ち食堂に於て岡部會長より岩倉前會長に對して慰勞の辭、岩倉前會長より之に對する御挨拶あり和氣洋々の裡に食堂の閉ぢられしは午後四時半にして當日の來會者は岡部會長、阿部副會長、岡部、清浦兩顧問始め本部支部職員約六十名なりき附て云ふ同日　總裁殿下御殿に於て功勞に依り特別徽章を親授の榮を擔ひし秋田支部會員千田勇子も特に　殿下の御思召に依り陪席の光榮を得たり

敎養所日誌

五月四日(火)　寮生登校例の如し午後四時より尋常科第六學年生擊劍演習す 寮長助敎事務員大原次郎氏兌擔敎授す、本夕より來る七日迄靖國神社合祀祭執行に付喫飯後寮生一同參拜す副寮長引率

五月五日(水)　高等科寮生は登校途次靖國神社參拜午前のみ授業尋常科寮生は靖國神社參拜し更に步騎砲工各聯隊の參拜儀容及祭禮狀況を見物せり、會長岩倉公爵夫人來臨約二十分間に寮生の擊劍を高覽せらる、夕食後寮生に靖國神社祭典の花火見物をなさしむる筈なりしも雨天にて道場に一同を集め火を點じ縫の瀧昇り戲をなす

五月六日(木)　高等科寮生は學校休業には在寮尋常科寮生は登校午前中のみ授業

五月七日(金)　寮生登校例の如し

五月八日(土)　寮生登校例の如し午後二時副寮長事務員に引率せられて寮生は靖國神社の奉納角力を觀覽す此日社主加茂宮司は特別の好意を以て數千の觀客あるにも不拘觀覽場所に最も適宜の位置を與へられたり夕食後寮生を第一自習室に集め演說會を開き各自隨意の演說をなさしむ後副寮長は日露戰役に於ける榎原一等機關兵曹の忠勇談をなし更に本演說會は毫も辯口を學ばんとする所以にあらざる旨を領得せしめ又來る土曜日迄の宿題作文として高等科靖國神社に詣づるの記尋常科寮生に角力を觀るの記を課して散會、就床後十時に至り附近高等商業火を失す依て非常呼集を實施したるに恰も熟睡中なりしを以て容易に覺めず相圖の吹笛第五回目始めて醒む然れども集合最も沈着なりしを以て其成績の頗る好なるを獎勵し直に樓上に導き失火の戒むべき光景を一見せしめ寮長には異狀なきを報ず

五月九日(日)　昨夜非常呼集を實施したるに依り特に一時間を優與し午前六時起床せしむ午前九時寮生一同村井事務員引率して龜井戶村に遠足を試む十一時同村に達し天滿宮に參拜したる後同社內の藤花を看茶店にて携帶の辨當及び小使携帶の煎餅を配與して喫せしめ十二時半に至り歸路に就く途中淺草公園に立寄り諸處觀覽四時歸寮す

愛媛支部宇摩郡幹事部幹事　重松きく子

愛媛支部宇摩郡幹事部　幹事　守谷きぬ子

同上宇摩郡幹事部幹事　佩三等有功章　種田三佐

同上宇摩郡幹事部　幹事　林　直子

五月十日(月)　寮生登校例の如し

五月十一日(火)　寮生登校例の如し

五月十二日(水)　寮生登校例の如し本日午後一時敎養所給與規則に就き下會議を開き四時終了す 寮長副寮長會計主任及び本部の杉原會計主任之に參列す大澤囑託醫も亦來會衞生に關する意見を述べ參考に供せらる所長は病氣にて出席なし

五月十三日(木)　寮生登校例の如し

五月十四日(金)　寮生登校例の如し

五月十五日(土)　寮生登校例の如し本部より寮生へ煎餅を給與せらる午後大掃除をなし淸潔檢査を行ふ近來寮生に遺尿症患者多きを以て夜間起床して放尿せしむるの必要あるが爲め本日より三森梧郞を臨時雇となし之が任に當らしめ且つ晝夜擊劍道具の修理手入を兼任す

五月十六日(日)　朝食後第一自習室に於て朗讀會を催し寮生は前日課題せられたる靖國神社に詣づるの記と相撲を見るの記とを交も起て朗讀せり最後副寮長は作文に就ての注意事項を示して散會中食後は靖國神社境內なる遊就館に至り日淸日露兩戰役の戰利品及古代の武具武器を觀る是れ加茂宮司の好意に出ず賣文館書店より書名「子供の病氣と其手當」を寄贈し來る曾田文甫氏より孝經集義の寄贈を受く

五月十七日(月)　寮生登校例の如し

五月十八日(火)　尋常科寮生は學校の催しに係る遠足會に出で龜井戶方面に遊び午後四時歸寮高等科は例の如し

五月十九日(水)　尋常科寮生は本日休業高等科例の如し

五月二十日(木)　寮生登校例の如し

五月二十一日(金)　寮生登校例の如し

五月二十二日(土)　寮生登校例の如し中食後大掃除を行ひ淸潔檢査をなす

五月二十三日(日)　午前十時寮生は辨當携帶の上村井事務員に引率せられ牛込蓮秀寺に於ける士官幼年學校の無名會死亡者の祭儀に參列す一同は有益なる談話を傍聽したる後喫飯の時茶菓の饗應を受け次で附近の戍城學校內に導かれ化學實驗及動植物の標本を參觀し四時歸寮したり

田中靜岡支部主事の演舌（下）

永久不朽に賴むべきは慈悲と智慧との外になきを覺り遂に多年の難行苦行を積んで萬世に涉る宏大なる敎を開かれたと云ふ我赤十字社及愛國婦人會を一貫せる精神とも云ふべき仁愛の吾人人類に關係の重大なる夫れ此の通りである此の仁愛を施さんとせば先づ第一に必要なるは金である其金を得んとせば勢ひ働かざる可らず其働に就ては見よ蜂は日々に數里を遠しとせずして蜜を貯へ蜘蛛は日々其勞を厭はずして巧妙なる網を作り勉めて其生なるが如く總ての物を觀察する時は實に數ならぬ蟲類に至る迄皆斯の如くである人類も之を日月世界及萬像の盈の關係靈妙にして宏大無邊なるに比する時は誠に山中の獸穴中の蟻消滴中の微蟲と果して幾何の差違かある一種の動物に過ぎずとは曾て耳にしたる一論である然れども苟も動物界を超越して萬物の靈長なりと任ずる以上は猶更のを悠々安閑として日月を經過し無爲に人生を終るとは誠に慚愧すべきである彼の露國のトルストイ伯の話に嘗て某所に勤勉なる一人の農夫あり日々耕作怠りなく培養せしかば作物穰々として稔り美田良圃は人々の羨望する所となれり人あり語りて曰く某地に至らば土地の價廉なり此の土地を賣却して其地に至り三倍以上を所有するを得べしと此に於て所有地を賣却して其地に至り多大なる土地を購入して耕作怠らざりしかば再び作物豐穰して大に利益を得るに至れり此に於て一種の慾望を生じ財產家を羨望するの念禁ずる能はず時に人あり告げて曰く某所に廣漠たる沃野あり殆んど無償同樣にて得らるゝとを得べしと農夫此の旨を聞き雀躍して早速同所に至り首領に會し語るに其旨を以てす首領曰く諾汝の望に任せん然れども無償に讓り渡すを能はず日出より日沒迄の間土地を巡週すべし然るときは其巡週せし地所は如何に廣大なりとも價僅に千ルーブルを以て讓り渡すべし若し定刻迄に歸着する能はざるときは千ルーブルは余の所得とし且つ寸地をも割讓せずと農夫は喜びて家に歸り翌朝僕を伴ひて出發し通過の境界を明かにする爲め行々所々に鍬形を施し可成多大の地所を得んとの慾望より終日奔走日の傾くを知らず今や夕陽の僅に山巓に影するを見大に驚き携帶品の一切を振り捨て疾走氣息喘々漸く其地點に歸着するや否や卒倒吐血して遂に死亡せしかば居合せたる人々は穴を穿て埋葬せしに其穴僅に六尺なりと此話は慾望の結果遂に生命を失ひしも最終所要の土地は僅に六尺に過ぎざりしとの一種の譬喩にして世上此の如き事例少なからず勤勉及慾望の必要なる元より言を待つべきにあらざれども適度の按配を缺くときは却て產を失ひ身を亡ぼすに至るものなれば愼まざるべからず要するに身體は活動の根元にして萬能の發作する所なれば最も大切に最も注意して强健に保持するとに心懸け身體强健にして初めて智慧を研磨し仁愛慈善の道を行ふを以て德器を成就したらば人類の天職を完ふするを得て赤十字社及愛國婦人會の精神にも一致する所以ならんと考ふ希くは幸に此の意を諒とせられ兩團體の隆盛を計り併て社會人道の爲め貢獻する所あらんとを一言所感を述べて祝辭と致します

熊本支部例會

其一（十月）

愛國婦人會熊本支部は去る廿五日午後一時より赤十字社支部に於て例會を催したりしが當日の出席者は支部よりは河內山主事、大野、宮村、島田、川島の四事務員會員にては川路支部長、西島評議員を始め幹事會員四十有餘名殊に細川志津子姬には新美家從及侍女を從へさせられ出席せられたり定刻に至るや先づ河內山主事より會務の報告をなし次に熊本監獄敎誨師村上法靜師は衣食住に關する問題の下に自己の信念を述べ且つ婦人の修身上最も適切有益なる講話をなし頗る莊重の辯を揮はしたり次に尾藤新也氏は前回に續ける歷史談をなし例の流暢なる辯を以て演ぜらるゝにより恰も當時の有樣を現に目擊するが如き心地して滿坐水を打ちたるが如くこれを傾聽したり次に又本縣技師竹下澄人氏は飲料水及食料品器具に付家庭に於て婦人の最も注意を要すべき點を擧げ一々之に化學的の實驗作用を示し極めて有益なる講話ありしが孰れも非常の感動を與へ近來稀なる盛會にして午後五時過閉會を告げ一同退散したり

其二（十一月）

愛國婦人會熊本支部に於ては本月十五日午後一時より赤十字社熊本支部に於て例會を催したりしが川路支部長西島評議員を始め出席會員四十有餘名にして定刻に至るや河內山主事は去る四日阿蘇郡久木野長陽二ヶ村合併婦人會總會の情況を報告し次に本派本願寺布敎使津梁願圓師及南木大應師の講話あり次に又竹下本縣技師は牛乳の人體に及ぼす消化作用及東京帝國大學敎授池田理學博士の新發見に成る味の素なる藥品に關する實驗談を試み孰れも有益なる話と實驗談のことゝて滿場非常の感動を與へ午後四時過散會したり

愛媛支部南宇和郡幹事部總會

十月三日午後一時半より本郡平城尋常高等小學校に於て南宇和郡幹事部第三回總會を開く此日朝來降雨ありて天候不良なりしを以て遠路若くは船に依るもの、如きは遺憾にも來會し得ざりしも尙會員の集まるもの二百五十名廢兵及軍人遺族の招待に應じて來るもの七十名なりし號報に依りて式場に入り式は篠田幹事部長の辭を以て開かれたり席に列らなるもの部長代理として來郡せる三宅支部主事を首として篠田顧問以下幹事部の役員一同及來賓としては矢野郡立水產農業學校長小笠原警察署長木田郡參事會員外郡內有志者殆て六十名、式場の裝飾は注意周到入るものをして自ら肅然襟を正さしむるの感を惹起せしめたり此時尾崎幹事は恭しく　總裁殿下御寫眞の覆を開除し參會員一同は最敬禮を以て　殿下を拜するの心を以て御前に進み最敬禮をなし　篠田幹事部長は々として誠意を表しつゝ起立し　殿下の御諭旨を捧讀す之に次ぎて三宅支部長代理は告辭を朗讀し篠田幹事部長答辭を朗讀せり了て篠田顧問は起て斯會の益々必要なることを詳細に說明すると共に廢兵及軍人遺族に對して懇懃なる慰籍の辭を述べ大に感激を起さしめ感極て覺へず涙に巾を濕すもの之ありしと同じく會員中にも同情に堪へず竊かに聲を吞むものありしと慰めらるゝものと慰むるものとは互に誠意を以て滿腹に最も美しき心を動かしぬ亞て谷本陸軍步兵特務曹長は廢兵及軍人遺族が感謝を代表すべく其文句々肺肝より出て如何に軍人が斯會に對する感謝み而して滿腔の熱情を以て成れる謝辭を朗讀す其深厚なるかを表はして餘ありと云ふべし且つ篠田顧問は本會と北宇和郡幹事部よりの祝電を朗讀せり要するに篠田顧問の演說は會員の心を言ひ盡して憾なく谷本特務曹長の答辭は廢兵及軍人遺族の心を陳べて至れりと云ふべし支部事業報告は三宅主事に依り幹事部事業報告は尾崎事務員に依て朗讀せられ寫眞の覆はるゝと共に最敬禮を受けられ幹事部長は式の終を告げ一同式場を退きたり此日會員には折詰を配り善哉、饂飩、酒の摸擬店を設け總會の光景をして和氣洋々の樂あらしむ其他に幻燈、蓄音機使用、物理機械運轉の餘興を行ひ物理機械の運轉は汽車電車電信電話等の摸型に依り之を運轉使用し久保佐藤兩校長の懇切なる訓導に委しく說明を與へしめたるに大に興味を持ちつゝ智識を得たるもの、如し蓋し郡內には是等の實物を見たるもの稀れなり太神宮に會所には樂人淨瑠璃を行ふ等特に廢兵及軍人遺族を慰籍するに用意せしにより廢兵遺族は素より會員も大なる滿足を以て一齊解散せしは午後五時半なりき

△本部最近記事

貴族院議員從四位勳四等馬屋原二郎氏は本月一日附を以て總裁殿下より愛國婦人會本部事務總長を囑託せられたり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

院長 醫學博士 榊順次郎 婦人科産科 毎日午前診察
副 醫學士 久保德太郎 婦人科的外科 外國留學中
副 醫學士 田代謹二 婦人生殖器病 泌尿器病及内科一般 火木土午後診察
●施診火木土午後一時至二時
婦人科産科 榊病院
麴町三番町三三(電話番町三九五)

○院長 ドクトル 木村順吉
京橋卅間堀一丁目角(電話新橋二六七〇番)
婦人科産科 木村病院

産科婦人科専門 岩田病院
診察毎日午前 入院隨時
淺草區左衞門河岸 電話下谷一〇二八

タカヂアスターゼ
●不消化の徴候 醫學博士谷口長雄氏曰く『澱粉不消化に因する疾病の重なる徴候は胃の膨滿、疼痛、溜飲、腸内瓦斯蓄積、便秘若くは下痢等にして甚しく營養障害を來す是等の疾病に對しタカヂアスターゼの頗る有効なるを信ず』と。
●高峰博士發見の製法に從ふタカヂアスターゼは毎瓶強度一定効力不變なり是れ普通製法の幾多摸造品と異る特長なり眞正なるタカヂアスターゼを得んには必ず高峰博士のタカヂアスターゼと指定せられよ粉末錠劑の二種あり各地に於ける信用ある藥舖にて取次販賣す
●醫學大家の報告を收載せる『タカヂアスターゼ説明書』あり發賣元東京日本橋室町三丁目三共合資會社へ申込まるれば無代郵送す

百萬の婦人 クラブ洗粉の効果を愛し
拾萬の紳士 クラブ洗粉の眞價を賞す
倶樂部の製品は總て顧客に忠實にして倶樂部の廣告は常に確實なる誓言なり是れクラブ洗粉の聲價を得たる第一の理由

資本金八百萬圓
東京京橋區木挽町 株式會社 十五銀行 電話新橋 三〇番 一五三〇番 三一九三番
同日本橋區新乘物町 同 日本橋支店 電話浪花 一九〇一番 三二七四番 三五〇八番
一定期預金 六ケ月以上年五分
一當座預金 日歩七厘以下
一特別當座預金 同 壹錢

當季最新流行 御半ゑり 并に 新年勅題模樣種々出來仕候
ゑり善
東京日本橋區堺町通ふきや町 電話浪花千二百七十一

良藥にして口に甘し
たんせきに あさだあめ 淺田飴 すきはらにめし
たんせき ひきかぜ はいびやう よわき
定價 金五拾錢 金參拾錢 金拾錢
東京本店 堀内伊太郎 大坂支店 取次全國藥店

胃病良藥 太田胃散

めりんす ゆふぜん 太物 いる
人形町通り 赤のれん おばなや本店 電浪四三四五

内科専門 杏雲堂醫院
神田區駿河臺 電本一六六九
院長醫學博士 佐々木政吉

婦人畫報
十二月一日發行 十二月卷 一冊廿五錢 郵稅二錢 六冊稅共一圓五十錢 十二冊二圓八十八錢

讀物
◎邪説を排け正論に就け……井上博士
◎今年の婦人界……三輪田元道
◎女子の手紙……大町桂月
◎明治四十二年女學界……宮田修
◎結婚後實驗の我家庭の經濟……佐治實然
◎姑として嫁を見たる一年……鳩山春子
◎細民に敬はるゝ井口博士と夫人
◎勅題詠進に就て…
◎爲情身を誤る女子…
◎東京化する女學生…
◎模範的階上臺所…
◎露國の暖き婦人…
◎女學生の拵へ喰物…
◎クリスマス物語…
◎歳暮贈答品手引…
◎手輕な菓子製法…
◎冬と子供…岸邊福雄
◎臺所科學…四村寅三
◎離婚されし若き女

本誌を讀まずして新春を迎ふる婦人は不幸なり

讀報
▼歳の市 極彩色石版美人 井川洗厓筆
▼大統領邸に於る久邇宮殿下
▼皇后陛下行啓の奉迎
▼兩殿下の御歸朝
▼村雲尼公御台臨と總會景況
▼御前演習の才媛
▼故伊藤博文公と未亡人梅子
▼百花亂咲目白臺
▼七五三のお祝ひ…
▼各女學校運動會雜況
▼各地珍菊花と花壇…
▼裝飾なき客間…
▼韓國に於る岸夫人…
▼外國少女と日本畫
▼如斯履物は出來る
▼將校婦人會移轉
▼盆栽盆石活花令孃
▼渡米婦人名流家庭

東京飯田町四ノ四 電話番町二三三九 東京社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN